

2学期末、師走のたいへん忙しい時期に平成28年度第2回学校評価アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。前回の92.3%から今回74.1%でポイントを下げたことは残念ですが、提出された内容から、励みになること、また課題として確認できたことがあり、今後の教育活動や平成28年度に向けて貴重な指針をいただいたと感謝しております。

集計結果からは、第1回結果とおよそ似たような傾向が見られます。僅差ですが、一人一人の比重が大きい本校では、すでに対応している内容もありますが、下がっている内容については、今後の改善や充実に努めなければいけない項目としてしっかり対応していきます。子供たちは、様々な学習や教育活動の中で大いなる成長を見せています。成果として確認できるところは、子供一人一人を賞賛し次のステップに進めていきます。その支えとして、家庭や地域のご理解、ご協力はいつも感謝しております。

1番「学校の教育方針」2番「学校の重点方針」3番「小中一貫教育」については、ポイントが少し上がりました。取組内容の理解が進んだといえたら幸いに思います。4番・5番・9番・11番が「学習に関する内容」になりますが、ポイントを下げている傾向が出ています。子供たちは、まじめにしっかり取り組み、意欲もありますが、理解や定着に関してさらに授業での工夫・改善が必要と考えるところがあります。学習に対する興味関心をより高め、深く考えたり、活用したりする力を高めることがさらに大切であると捉えています。言語活動、音楽活動、読書活動、学校行事、特色ある教育活動等でよい成果を見せている子供たちです。さらに、基礎・基本的な内容を確実なものにするとともに、総合的に、確かな学習の力として身に付くよう指導の充実を図っていきます。8番「いじめのない学校づくり」に関しては、人権教育、道徳、道徳授業地区公開講座、学級活動、生活指導も含め全教育学級で取り組む内容ではありますが、評価では、わからない（判断できない）の項目がどうしても高くなる項目です。2学期は、学級でのトラブルを心配されて評価された内容もあると認識しています。いじめについては、全教職員対応で早期発見、解決そして今後生きる指導を徹底していく所存です。心配事などがありましたら、すぐにご相談ください。10番「情報の提供」については、お子さんから学校の様子を聞くことが、まず1番ですが、生活や学習について十分に家庭や地域に伝え切れていないこともあり、学年での差もある場合があります。保護者、地域の方に安心していただく情報をしっかり伝えることは大切だと考えます。さらに努力していきます。

さて、この学校評価についてですが、前回からの推移を見るために同内容の項目を記名式で評価していただきました。もちろん無記名および担任を通さず管理職等に直接提出して頂いたりしてよいものだと考えています。本校は少人数のよさを生かした教育が、小中一貫教育の充実とともに、一人一人を大切にした教育をしなければいけない学校として認識しています。「子供たちのために、地域のために」という思いや願いは教職員も保護者・地域の皆様と一緒にです。学校評価アンケートだけではありませんが、家庭と学校がよい連携をとって、風通しのよい関係で率直に情報交換やいたらない点や気づかない点を教えていただける関係でありたいと考えます。ご意見をいただいた内容は、今後にかすとともに、返信が必要と考える内容については、個別に連絡していきます。これからも、気軽にご連絡、ご相談をいただき、子供たちや地域のために努力していきたいと考えます。3学期もご支援、ご協力をよろしく願います。（校長）